

The service club of the YMCA Affiliated with the international association of Y's Men's clubs
"To acknowledge the duty that accompanies every right"



西日本区強調月間 CS

CS活動(地域奉仕活動)で輝く未来を。

~CS事業報告、CS事業資金申請とCS献金も宜しくお願いします。

川口 恵 地域奉仕・環境事業主任 (名古屋)



今月の聖句

ヨハネによる福音書11章25節

わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。

強調月間 CS

主査主題 **楽しもう地域奉仕！～笑顔が広がる～**

京都部第28期

地域奉仕環境事業主査

山田 維久仁(京都ZEROクラブ)

今期、京都部第28期地域奉仕・環境事業主査を仰せつかっております京都ZEROクラブの山田維久仁です。

当初、私に出来る事であればさせて頂こうという精神の基、安請け合いしてしまいましたが、ワイズ歴13年で会長経験はあるものの、地域奉仕・環境事業委員も担当三役の経験もなく私みたいなものが主査をさせて頂いて良いものかと、不安を抱えての出発でした。

京都部地域奉仕・環境事業主査と言えば、11月の京都部ワイズデー、2月のチャリティーボウリングを企画運営するという大きな役目がございます。プレッシャーも大きいですが、特に京都部ワイズデーは何もないところから作り上げていくという楽しみがありました。地域奉仕・環境事業の現場には多くのYMCA関係者、ワイズメン以外の方が関わり、笑顔に溢れています。そしてそれがワイズメンの癒しとなり存在意義に繋がっている部分が多くあるように思いますし、その笑顔が溢れるところに人は集まってくるのではないのでしょうか。今期の京都部ワイズデーでは、その地域奉仕・環境事業を通して、一人でも多くの一般の方にも楽しんで頂き、PRに繋げていければという思いで企画させて頂きました。

結果、京都部ワイズデーでは京都市動物園入場者数4,718人のうちワイズ関係者の来場は400名近くございました。また、ワイズデーの登録数は当日券40枚を含め507名の登録となりました。この登録数はほぼ京都部のメンバー数です。京都部が一丸となって開催できたのではないかと考えております。何よりも多くのワイズメンをはじめ、友人などのゲスト、ご家族、お子様に沢山ご参加頂きました事、本当に嬉しく思いますし、ご協力いただいたワイズメンの皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。動物に困んだサーキットクイズも一般の来園者を含め3,000名の内、殆どがゴールまで参加いただき、用意していたオリジナルクリアファイルもお菓子も終了前には無くなってしまいくらい好評でした。

当初の目標であった、一人でも多くのメンバーが取り組み、小さな一人一人の力が大きな波、ウネリとなって京都部全体が一丸となったことで、大きな事業を成すことができ、とても良い事業になったのではないかと考えております。

地域奉仕・環境事業主査を経験させて頂くことで、本当に良い勉強をさせて頂いています。各クラブからのCS事業実施報告書も毎月のように多く提出されます。各クラブが独自の地域奉仕・環境事業を実施されるのを拝見しておりますと、なるほど京都部はこのようにしてメンバー数が増えているのだなと感じることが多くございます。

2月25日(日)にはチャリティーボウリングが開催されました。こちらも事前の登録のとおりに約192名の方にご参加いただき、京都部の事業を通じて自クラブ以外のワイズメンと笑い合え、正に笑顔溢れる地域奉仕ができたことを嬉しく思います。

今期も残すところあとわずかとなりましたが、宜しくお願い申し上げます。

京都パレスワイズメンズクラブ会長
安原 弘治

「継続的な発信」

"continue to ask"

「やるからには楽しもう」

国際会長〔IP〕

Ulrik Lauridsen (Denmark)

「輝かそう、あなたの光を」

"Let your Light Shine"

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

"Good Communication Is the Cornerstone for All Cooperation"

アジア太平洋地域会長〔AP〕

利根川 恵子 (東日本区 川越)

「変革のための光となろう」

"Be the light for change"

「親睦を通じて輝き、力を得よう」

"Shine and empower through fellowship"

西日本区理事〔RD〕

深谷 聡 (名古屋)

「未来に灯そう(ともそう) 希望の光り」

"Let's illuminate the light of hope for the future"

「互いに認め合おう 世界の友と」

"Let's recognize each other with our friends from all over the world"

京都部部長〔DG〕

武村 松一 (京都ウイング)

「仲間を増やそう」

"Make more friends"

会長 安原 弘 治

副会長 大野バージニア

副会長 服部 洋 典

書記 小林 千 春

書記 橋本 尚 史

会計 爲 國 光 俊

会計 米 増 貴 雄

例会出席

在籍クラブ会員数	64名	2月第一例会	2月第二例会
担当主事	1名	メンバー 34名	メンバー 38名
パレス功労会員数	2名	メネット 0名	メネット 1名
パレス維持会員数	2名	コメット 0名	コメット 0名
月間MU総数	4名	ゲスト 0名	ゲスト 6名
月間出席者数	42名	ビジター 0名	ビジター 0名
月間出席率	71.9%	スピーカー 0名	スピーカー 0名

ニコニコ / ファンド

ニコニコ2月第一例会	8,000円
ニコニコ2月第二例会	15,000円
累計	207,000円
ファンド収益	72,960円
累計	891,749円
電気ファンド2月	3,008円
累計	26,525円

2月第一例会は、恒例のTOF例会でした。例年通りYMCAで例会を行い、食事無しで通常よりも短縮された形式で行われました。「Time of Fast」の精神に則り、その食事代を奉仕会計に拠出するというコンセプトです。

本年度TOF例会のゲストスピーカーは、社会福祉法人あだち福祉京都こども宅食プロジェクトより泰良和也様にお越し頂き、こども宅食プロジェクトの概要、京都に住む困窮子育て世代の現状やその関連活動の報告をして頂きました。中でも昨年11月にパレスのCS事業の「卓球Tリーグ京都カグヤライズの卓球観戦と体験イベント」にこども宅食プロジェクトとして、あだち福祉会の子供と保護者を招待した件に関して、大いに感謝をしておられました。貧困の子供たちは、食事と教育、加えて「体験」の量が少ないのが大きな問題になっている様です。ワイズは青少年への奉仕に重きを置く団体です。今後もこのような活動が継続されると良いと思いました。



泰良和也様のご講演の様子



バナー贈呈



渡邊CS委員長



例会後にはメンバーで楽しく

2月第二例会は、和敬学園から生徒さん3名と職員の方1名、メンバーゲストとメネット 計7名のゲストをお迎えしました。

会長挨拶では、長年にわたりパレスクラブに在籍、ご活動された山岸弘侍さんの訃報を受け、黙祷を捧げる時間が設けられました。奨学金贈呈式では、今春高校を卒業される和敬学園の生徒さん達が自身の進路についてお話しされました。皆さん明確な目標・夢を持っておられ、クラブの活動を通じて少しでも実現のお手伝いが出るとしたらこんなに嬉しい事はないと思いました。

食事と歓談の後、京都カグヤライズ代表兼監督 池袋ワイズと在京都ラオス人民共和国名誉領事 大野ワイズのお二人がスピーチを担当。最初に、池袋ワイズがプロ卓球チーム立ち上げに至った経緯と地元京都への貢献の志を話され、続く大野ワイズのラオスと日本との歴史のお話しもまた大変興味深く、ラオスでは天皇陛下の誕生日にパーティが開かれると聞き、少し驚きました。

黙祷、奨学金贈呈、急遽のスピーチ等、パレスクラブの温かさと団結力を再認識する事が出来ました。



贈呈式



京都カグヤライズについて



ラオスYMCA ホテル学校について



HB・HA

JWF（西日本ワイズ基金）を知っていますか？



西日本区JWF管理委員会
委員長

川本 龍資
(名古屋クラブ)

ワイズ西日本区には、唯一の基金が存在します。それが、JWF（西日本ワイズ基金）です。この基金は、1975年に熱海で開催された第51回国際大会の余剰金、約9百万円で始まりました（「アタミ基金」として発足し、その後「日本ワイズ基金」となった）。更に日本区が東・西日本区に分かれた際に分割譲与され、現在のJWFとなり、現在約3千万円を有します。

献金はワイズメン個人の記念（慶弔事、区役員就任記念など）として、またクラブ単位にて（クラブの周年事業の一環としてなど）感謝を込めてお捧げくださる形が多く見られます。そして永久保存文書「奉仕帳」に寄贈者の氏名並びに献金理由を感謝の記録として残されます。

基金の支出に際しては、JWF管理委員会規則第4条「基金は、ワイズ発展の重要プロジェクトおよび、緊急事態に対応するために活用される」に則り、区役員会で審議され2/3以上の賛成決議された案件に対し、JWF管理委員会で審議、全委員の2/3以上の賛成を以てJWFが活用可能となる仕組みです。ハードルが高く、過去には1件「ワイズ将来構想特別委員会“ワイズ起こし運動”」の活用資金として用いられました。活用することによってワイズ発展に寄与する案件が今後活発に協議されることを期待します。そして「まさかの時の備え」とする重要な基金であることを理解いただき、お捧げ下されれば幸いです。

京都パレスクラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

京都YMCA創立135周年記念会員集会

2024/02/10 Sat. 京都YMCA | 藤尾 実

37名の参加で開催された創立記念会員集会、今回は世界YMCA大会で一昨年、2030年に向けて、YMCAが創立以来目指してきたミッションを現代社会における行動目標として表した「YMCA Vision 2030」について、日本YMCA同盟の杉野歌子さんからの講演、またこの4月からスタートする京都YMCA中期計画2024について、加藤総主事より発表がありました。その後、分団に分かれて、私たち京都YMCA会員に何ができるか、どのように取り組んでいくのかを意見交換をしました。パレスクラブからは隠塚ワイズが参加し分団討議のとりまとめの発表をしていただきました。世界規模での視点を持ちつつ、京都の地にあって、私たちに何ができるかを考える貴重な機会となりました。



日本YMCA同盟 杉野歌子さん講演



隠塚ワイズ分団発表

京都YMCAチャリティーバザー

2024/02/18 Sun. 京都YMCA | 池田 亮太

京都マラソンで賑わう同日、京都YMCAにてチャリティーバザーが開催されました。

地下1階で開催された物品バザーの他にも、1階で飲食出店、2階で展示がありどれも盛況となりました。

子供は勿論、大人も楽しむ事ができ、私自身も良い体験となりました。今年お越しになれなかった方も来年は是非お越し下さい。



ご提供いただいた
バザーの品々



綿菓子作りに挑戦



会長Jrも興味津々

京都部チャリティーボウリング大会

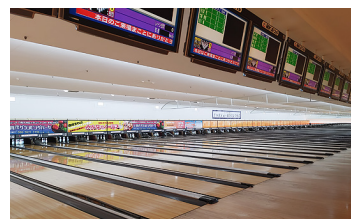
2024/02/25 Sun. MKボウル 上賀茂 | 若林 紀子

2月25日（日）に京都部チャリティーボウリング大会が約190名の参加で開催されました！

パレスクラブからはメンバー9名、和敬学園の生徒さん11名＋職員さん3名で参加しました。和気藹々で楽しくプレイ出来たとおもいます。



チーム対抗で勝利を目指します。



会場を貸し切った開催でした。

ピンクシャツデー

2024/02/28 Wed. ホテルオークラ京都 | 大橋 芳夫

2月の第二例会はピンクシャツデー
いじめに負けない社会を作ろうという意志のもとピンク色の物を身に付けての開催。

これから社会へと巣立つ和敬学園の生徒の夢を語る言葉が心に響き良い例会になりました。



ピンクシャツデー

この春から、YMCAではじめてみませんか？

4月から子どもウェルネスプログラム申込み

スイミングスクール 体操 サッカー バasketボール
キッズダンス 自然体験学習プログラム アフタースクール

お申込み・お問合せ

京都YMCAウェルネスセンター



詳しくは下記URLをご覧ください。上記QRコードを読み取ってご覧ください。

<https://wellness.kyotoymca.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/2024kyotoymcawellnesskids.pdf>



2月役員会議事録

- 第1号議案 西日本区令和6年能登半島地震緊急募金の件【承認】
- 第2号議案 1月メール役員承認事項承認の件【承認】
- 第3号議案 委員会配属の件【承認】
- 第4号議案 退会者の件【承認】
- 第5号議案 ドライバー委員長選出の件【承認】
- 第6号議案 臨時総会開催の件【承認】
- 第7号議案 京都YMCA三条保育園物品寄贈サポート内容変更の件【承認】
- 第8号議案 京都YMCAユースボランティアリーダー2023年度活動感謝会の件【承認】
- 第9号議案 4月第二例会（Yサアワー例会）の件【承認】

今後の予定

- 03-02sat. 03sun. 京都YMCAミニバスケットボール大会
- 03-06wed. 3月役員会
- 03-09sat. 次期会長・主査研修会
- 03-10sun. ユースボランティアリーダー活動感謝会
- 03-10sun. 全国車いす駅伝競走大会
- 03-13wed. 3月第一例会
- 03-16sat. 京都部リトセンチャリティゴルフ
- 03-19tue. 札幌クラブ訪問
- 03-23sat. 京都めいぶるクラブ40周年記念例会
- 03-27wed. 3月第二例会(TOSファンド例会)

03

March

HAPPY BIRTHDAY!

- 08 石原 正也
- 08 安田 久理人
- 17 福井 正太
- 25 上野山 由紀



HAPPY ANNIVERSARY!

- 03 安田 久理人・麗子
- 06 大下 久弥・潤子
- 13 川上 孝司・ひで子
- 20 大橋 芳夫・晶子
- 22 井上 均・有子

Column 今でも憶えているできごと

パレスクラブ40+1会長

第41期会長 森田美都子

京都パレスクラブの40周年記念式典まで余すところ一カ月に控えたその日、あの東日本大震災が起こりました。我々パレスメンバーは苦渋の選択を迫られた結果、その期の山本一博会長は40周年式典を中止と決断、全てをYMCAに震災支援寄金として上程しました。

しかしパレスは不屈の精神で一年後、約400名のY'sメンバーを迎えて不死鳥の如く華々しい「40+1記念式典」を開催しました。

コンセプトはアカデミー賞授賞式のあでやかさで“What's a wonderful Y's!”70名のパレスメンバー全員が黒のタキシードとフォーマルドレスのコードで♪チャンピオン♪のBGMが流れる中を颯爽と登場しました・・「ここまでやるかパレス!!」ど肝を抜かれた参加者からの興奮賛辞を浴びた記念式典。

その後プラスワンのロゴを流行らせる大旋風を巻き起こした今でも憶えているできごとです。



40+1例会